

非破壊試験業務における資格レベルの適正な運用について

一般社団法人 日本非破壊検査協会
認証事業本部

(一社)日本非破壊検査協会における非破壊試験技術者の認証制度に対するご理解とご支援を賜るとともに、認証資格を種々の工業分野において活用いただき、誠に有難うございます。協会と致しまして、社会資本の安全確保における重要な担い手である非破壊試験技術者の更なる地位向上を目指しています。

さて、認証されている非破壊試験技術者(2020年4月現在)の延べ総件数は86,000件を超えており、第3者認証制度としての資格発行件数は世界第1位を誇るものとなっています。その内訳はレベル3:8,040件(9.3%)、レベル2:61,916件(71.6%)、レベル1:16,446件(19.1%)となっています。

一部の検査実施現場においては、種々の場面でレベル3技術者を要請するケースが増加傾向にあり、検査工事が輻輳する場合などにおいては、請負者側が保有しているレベル3技術者の数に限りがあることから、要求される人員の手当てに困難を生じているとの声が聞かれます。これには、とにかく最高のレベルの技術者でなければならないとの思いが発注者側にあるためと思われるが、それぞれの資格の責任範囲に応じて依頼をして頂くことが大切です。

発注仕様書等に試験の実務者としてレベル3技術者が規定された場合でも、レベル2で十分に対応可能な場合が多々見られます。また、レベル2技術者で十分に対応可能な業務にレベル3技術者が指定されることにより、検査の実務が十分実施できる資格であるべきレベル2の社会的地位を落としかねないと危惧しています。

当協会と致しまして、それぞれの技術レベルに応じた適正な運用をお願い致したく、非破壊試験業務にはレベル1又はレベル2技術者を指定して頂くことが妥当と考えています。

また、別紙により「JIS Z 2305:2013(非破壊試験技術者の資格及び認証)に基づく技術者の資格レベル」を示しますので、資格者の業務範囲をご理解いただき、非破壊試験業務を発注、あるいは委託するにあたって技術レベルを指定する場合には、以下のように切り分けくださるようお願い致します。

(1) NDT指示書で探傷の詳細が指示されている場合はレベル1技術者

(レベル 2 又はレベル3 技術者の監督*のもと)

※監督:ほかのNDT技術者が実施するNDTの適用を指示する行為。これには、NDTの準備及び実施並びに結果の報告に関わる行為の管理を含みます。該当事者を常時側に置いて監督することではありません。

(2) 探傷した結果できずの位置や大きさなど複雑な判断を要する場合にはレベル2技術者

(3) 総合的にどんな試験方法を選択するか、あるいは仕様書、NDT 手順書の作成、提出などを要する場合はレベル3技術者

このことについて皆様のご理解を頂き、今後とも非破壊試験業務には、認証された適正なレベルの非破壊試験技術者の採用をお願い致します。また、関連業界で統一の見解を持って頂けるよう当協会と致しまして引き続き広報して行く所存でございますが、関連業界の皆様におかれましても趣旨をご理解頂き、適正な運用を図って頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

<参考> JIS Z 2305:2013(非破壊試験技術者の資格及び認証)に基づく技術者の資格レベル

レベル1

レベル1の認証を受けた個人は、指示書に従って、かつ、レベル2又はレベル3技術者の監督の下で、NDTを実施する力量を実証している。雇用主は、レベル1技術者に、資格証明書に明記された力量の範囲で、NDT指示書に従って次の項目を実施する許可を与えてもよい。

- a) NDT装置を調整する。
- b) NDTを実施する。
- c) 記載された基準に従ってNDT結果を記録し、分類する。
- d) 結果を報告する。

レベル1の認証を受けた技術者は、使用するNDT方法若しくは技法の選択又はNDT結果の解釈について責任を負ってはならない。

レベル2

レベル2の認証を受けた個人は、NDT手順書に従ってNDTを実施する力量を実証している。雇用主はレベル2技術者に資格証明書に明記された力量の範囲で、次の項目を実施する許可を与えてもよい。

- a) 使用するNDT方法に適用するNDT技法を選択する。
- b) NDT方法の適用限界を明確にする。
- c) NDTコード、規格、仕様書及び手順書を作業条件に適したNDT指示書に書き換える。
- d) 装置の調整及びその検証を行う。
- e) NDTを実施し、監督する。
- f) 適用される規格、コード、仕様書又は手順書に従って結果を解釈し、評価する。
- g) レベル2又はそれより下のレベルの全ての作業を実施し、監督する。
- h) レベル2又はそれより下のレベルの技術者を指導する。
- i) NDT結果を報告する。

レベル3

レベル3の認証を受けた個人は、認証の対象となるNDT作業の実施及び指示する力量を実証している。レベル3技術者は、次の項目を実証している。

- a) 現行の規格、コード及び仕様書によって結果を評価し、解釈する力量をもっている。
- b) NDT方法の選択、NDT技法の確立及びほかに判定基準が存在しない場合にはその確立を補佐するために、適用する材料、製造、プロセス及び製品技術についての十分な実技に関する知識をもっている。
- c) ほかのNDT方法に関する一般的な知識に精通している。

雇用主はレベル3技術者に、資格証明書に明記された力量の範囲で、次の各事項を実施することを許可してもよい。

- a) NDT設備並びに試験センター及びその職員についての全責任を負う。
- b) NDT指示書及び手順書を作成し、編集上及び技術上の精査、並びに妥当性を実証する。
- c) 規格、コード、仕様書及び手順書を解釈する。
- d) 使用する特定のNDT方法、手順書及びNDT指示書を指定する。
- e) 全レベルの全ての作業を実施し、監督する。
- f) 全レベルのNDT技術者を指導する。